

よしかわタイムズ



令和3年
11月号

発行
吉川市商工会青年部
広報委員会
VOL. 43

地域活性化フォトコンテスト



「フォトコンテストグランプリの二作品」

コロナ禍でも行える地域活動という事で、本年六月に「第一回なまずフォトコンテスト」を開催させて頂きました。応募件数二十九件の中よりグランプリを選ばせて頂き、結果を702(なまず)の日に合わせて、七月二日に発表致しました。

青年部員事業所のロゴ入りエコバッグやレトルト食品など、景品として発送させて頂きました。

八月には、『夏休み』をテーマとして『夏休みフォトコン』を開催。楽しそうな投稿を見て少しでも元気を与えられたらという企画でした。こちらは六十一件の応募の中より子供部門と親子部門でグランプリを決めさせて頂きました。

フォトコン期間中にフォロー数も百件以上増え、今後InstagramやFacebookを利用して活動内容を伝えて行けたらと思います。

よしかわマルシェ開催



ご来場ありがとうございました！



感染症対策もしっかり行いました

令和三年十月二十四日(日)、UNICUS吉川にて第四十五回よしかわマルシェが開催された。今回のマルシェは、六月に続いて今年度二回目となる。十月の緊急事態宣言解除があったものの、コロナ蔓延の危険も残るため、告知は最小限にとどめている。開催の見込みが立たないイベントが多い中で開催に各団体からの注目が集まった。
今回は青年部員でもあり、よしかわマルシェ委員長の赤出川哲宏君に話を聞いた。
今回、コロナ禍における二回目の開催ということで、より徹底した新型コロナウイルス感染症対策を話し合いました。前回に続いて出店してくれた事業者も多く、主催者側としても事業者の皆さんのよしかわマルシェの強い思いを感じました。また、来場者数も前回より一割ほど増え、市民の皆さんも高い関心を持ってくださっていると思えました。
今後よしかわマルシェのようなイベントが多く開催され、地域の経済発展に貢献できれば嬉しいです。」

部員紹介コーナー

私は、吉川市は栄町で創業四十年目を迎えました、有限会社ワコー電器の代表取締役としてまちの電気屋さんをやらせていただいております飯塚貴利(38)です。「電球の交換からメガソーラーまで電気のことなら何でもござれ！」をモットーに、皆様のご要望に応えるべく、様々な場面における電気工事が生業でございます。
主に吉川市内の不動産屋さんや建築屋さん、設計屋さん、そのほか皆々様よりお声かけいただくことで商売が成り立っております。

私が初めて責任者として携わったのが、皆さんご存知、レガメさんの吉川駅前のお店でした。
あの洗練された光の暖かみに加え、人の動きが考えられた設計を具現化する一員となれたことは、かけがえのない私の誇りです。

電気工事に一番大切なのは「プラスとマイナスをどう扱うか」ですが、電気の流れは単純でして、出たら入る。ただその繰り返しになります。
私はこのまちの電気屋として、地域の皆さんから多くの学びと御恩をいただいております。その学びや御恩をしっかりとお返しすることで、地域還元を念頭にいた毎日を送ることができております。

電気屋として仕事をすることで、明かりが灯るよう、今後皆さんの暮らしをもっと明るく、笑顔溢れる地域を目指して仕事も地域活動も日々精進して参ります。これからもどうぞよろしくお願ひします。



「みんなの暮らしをもっと明るく」

(有)ワコーデンキ
住所:吉川市栄町 870-1 TEL:048-981-4560